

## 校長室だより No 8

# 学校と家庭と地域が一体で育てる

2022年 6月2日 柏市立土小学校 校長 梅津 健志

28日にはスポーツフェスタを開催しました。保護者入場は1名と制限をさせていただきご不便をおかけしましたが、多くのご家庭のご理解とご協力を得て実施することができました。ありがとうございました。現在、次年度の運動会（スポーツフェスタ）立案の参考資料とするため、オンラインによる感想等のとりまとめしております。現在160件の回答をいただく中で、評価得点は2.86（4点尺度）とまだまだ改善の余地があることを認識しております。

今年度表現を入れたことは、昨年のアンケート結果を活かしての対応でした。一方で、リレーやセパレートコースの設定が無くなったことは、来年度への課題であると考えております。来年度の計画に示唆をいただける感想フォームへのご回答をお願いいたします。その際に共有しておきたいことがあります。それは「目標・目的」です。土小学校では、「かしこく やさしく たくましく やり抜く子」を育むことを目的に、4つの姿を目標として取り組んでいます。その姿に近づく力を育てるために、様々な学習や行事を行っています。今回ご覧になり、「今年は〇〇が足りないから、来年は〇〇を取り入れると、〇〇姿の実現につながるので、是非〇〇して欲しい」といった形で、代替案を持ったお考えをいただくと、まさに学校と保護者の皆様とが一緒に学校行事を創っていくことになると考えています。

日本全体で取組みを進めているコミュニティー・スクールという形の学校は、こういうスタイルへの変換を促しています。今、多様性が高まる世の中において、答えは一つではありません。多様な考え方の大人たちが集まり、目的と目標を共有した上で、その時の最善策（納得解）を見出し共有しながら、それぞれの立場で力を発揮し目的達成をしていく世の中です。学校はそういう世の中で生き抜く、子供たちの学びを育てていくことを目指しています。今、学校はサービス産業ではない、と言われていきます。単に子供が様々な知識や技術を身に付けるだけの場所ではありません。子供たちが知識や技術を身に付けるための学習活動を通じて、大人として必要となる力＝資質・能力を身に付ける場所です。そのため、先生が一人で教えるのではなく、多くの大人たちが関わり、子供が自分から学びとっていく環境としての学校に変わる必要があるのです。6月18日の教育ミニ集会では、総合的な学習の時間の学習づくりを、保護者や地域の方を交えて行う予定です。是非、作る段階でご意見を聞かせていただきたいと思います。

今週末4日（土）の「サロンつちのこ」まつりは、土小の子限定の大規模イベントです。是非親子で御参会ください。地域の方々が創る子供の学びの場です。是非是非ご参加をお願いします。